



## 2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月6日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員(氏名) 平能 正三  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日~2021年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	217,897	△7.8	2,582	37.4	3,177	67.2	1,071	—
2020年5月期第3四半期	236,314	△6.2	1,878	262.6	1,900	148.3	△649	—

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 3,431百万円(—%) 2020年5月期第3四半期 287百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	34.16	—
2020年5月期第3四半期	△20.69	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	253,126	81,588	30.8
2020年5月期	245,980	78,327	30.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 78,057百万円 2020年5月期 74,964百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	△5.6	2,500	24.1	2,700	67.5	100	—	3.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期3Q	31,554,629株	2020年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	193,621株	2020年5月期	188,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期3Q	31,363,278株	2020年5月期3Q	31,369,198株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による経済活動の停滞などにより、厳しい状況で推移しました。そのなかで、米国、中国で経済活動の段階的再開や景気対策の効果により回復の動きが見られましたが、依然として先行きは不透明な状況が続いております。わが国の経済は、昨年5月の緊急事態宣言解除後、経済活動再開の動きが広がり、個人消費や自動車、半導体等電子部品の輸出の持ち直しや、住宅投資の落ち込みに歯止めがかかりました。しかし、本年1月に再び発令された緊急事態宣言後は、個人消費を中心に一時的に停滞する懸念が高まっております。

このような環境下、当社は新型コロナウイルス感染症のリスク対応を図るとともに、将来の市場構造変化に対応する事業ポートフォリオの構築に向け、基本方針を『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』とする2019年5月期から2021年5月期までの中期経営計画に掲げる重点施策「収益改善」「成長事業、グローバルシナジーの拡大」「次なる事業領域の開拓」の展開を進め、収益面での健全経営を確立し、安定的に成長する企業グループを目指した取り組みを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,178億97百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益25億82百万円（前年同期比37.4%増）、経常利益31億77百万円（前年同期比67.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億71百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億49百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 建材事業

建材事業においては、新設住宅着工戸数が前年度を下回る状況が続いたことなどにより、売上高1,318億39百万円（前年同期比10.2%減）となりました。利益については、販管費抑制、粗利改善施策を進めたことや、アルミニウム地金価格が前年度より低い水準となったものの、売上減少などにより、セグメント利益18億34百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

#### マテリアル事業

マテリアル事業においては、半導体製造装置などの一般機械や輸送機器関連を中心に需要獲得を進めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、アルミニウム型材市場の国内需要が全般的に減少したことや、アルミニウム地金市況に連動する売上が減少したことなどにより、売上高282億12百万円（前年同期比6.0%減）となりました。利益については、加工品の増加や販管費抑制などにより、セグメント利益20億43百万円（前年同期比94.6%増）となりました。

#### 商業施設事業

商業施設事業においては、小売業における新規出店需要の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、省人化・省力化を含む既存店改装需要の取り込みなどにより、売上高286億36百万円（前年同期比0.8%増）となりました。利益については、コストダウンの推進や業務効率化による販管費抑制などにより、セグメント利益14億18百万円（前年同期比635.5%増）となりました。

## 国際事業

国際事業においては、自動車関連の売上が伸張しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、欧州、タイにおいて機械分野や建材分野を中心にアルミニウム型材の需要が全般的に減少したことなどにより、売上高290億89百万円（前年同期比6.2%減）となりました。利益については、販管費抑制などの収益改善を進め、セグメント損失25億47百万円（前年同期はセグメント損失27億61百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて71億45百万円増加し、2,531億26百万円となりました。これは、現金及び預金が30億47百万円、仕掛品等のたな卸資産が21億19百万円、有価証券が12億91百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて38億84百万円増加し、1,715億38百万円となりました。これは、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が75億円、1年内償還予定の社債が30億円、それぞれ減少したものの、長期借入金75億30百万円、1年内返済予定の長期借入金が36億14百万円、支払手形及び買掛金が19億84百万円、短期借入金が18億94百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。なお、純資産は815億88百万円、自己資本比率は30.8%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年12月15日に公表いたしました2021年5月期の通期連結業績予想を修正いたしました。また、未定としておりました2021年5月期の期末配当予想も修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年4月6日）に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,298	28,345
受取手形及び売掛金	43,664	43,659
電子記録債権	4,760	3,961
有価証券	95	1,386
商品及び製品	15,982	15,315
仕掛品	17,977	21,462
原材料及び貯蔵品	11,063	10,363
その他	6,020	7,955
貸倒引当金	△890	△767
流動資産合計	123,971	131,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,707	22,866
土地	54,001	54,198
その他（純額）	23,457	24,122
有形固定資産合計	101,166	101,187
無形固定資産		
のれん	2,745	2,115
その他	2,747	2,662
無形固定資産合計	5,492	4,777
投資その他の資産		
投資有価証券	10,346	11,253
その他	5,588	4,807
貸倒引当金	△584	△582
投資その他の資産合計	15,350	15,479
固定資産合計	122,009	121,443
資産合計	245,980	253,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,756	40,741
電子記録債務	17,525	18,443
短期借入金	5,979	7,873
1年内償還予定の社債	3,000	—
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	7,500	—
1年内返済予定の長期借入金	13,904	17,518
未払法人税等	1,311	473
賞与引当金	403	1,995
引当金	6	26
その他	21,913	19,507
流動負債合計	110,299	106,580
固定負債		
長期借入金	36,272	43,802
役員退職慰労引当金	8	8
製品改修引当金	786	635
退職給付に係る負債	12,067	12,372
資産除去債務	459	465
その他	7,759	7,673
固定負債合計	57,353	64,957
負債合計	167,653	171,538
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	32,828	32,828
利益剰余金	25,055	25,969
自己株式	△243	△248
株主資本合計	72,640	73,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370	956
繰延ヘッジ損益	△729	492
土地再評価差額金	3,835	3,835
為替換算調整勘定	△1,286	△1,176
退職給付に係る調整累計額	134	400
その他の包括利益累計額合計	2,323	4,507
非支配株主持分	3,363	3,531
純資産合計	78,327	81,588
負債純資産合計	245,980	253,126

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2021年2月28日)
売上高	236,314	217,897
売上原価	184,631	167,461
売上総利益	51,682	50,436
販売費及び一般管理費	49,803	47,853
営業利益	1,878	2,582
営業外収益		
受取利息	25	30
受取配当金	336	194
スクラップ売却益	481	423
持分法による投資利益	258	212
助成金収入	9	438
その他	544	737
営業外収益合計	1,654	2,036
営業外費用		
支払利息	418	448
売上割引	684	613
その他	530	379
営業外費用合計	1,633	1,441
経常利益	1,900	3,177
特別利益		
固定資産売却益	15	6
投資有価証券売却益	0	149
その他	0	1
特別利益合計	16	156
特別損失		
固定資産売却損	11	5
固定資産除却損	224	270
投資有価証券評価損	650	10
その他	0	1
特別損失合計	886	287
税金等調整前四半期純利益	1,030	3,047
法人税等	1,410	1,795
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△379	1,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	179
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△649	1,071



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△379	1,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	582
繰延ヘッジ損益	△29	1,221
為替換算調整勘定	329	106
退職給付に係る調整額	179	244
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	23
その他の包括利益合計	666	2,180
四半期包括利益	287	3,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25	3,254
非支配株主に係る四半期包括利益	261	176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大収束時期や影響の程度など、先行きの不透明感が強く、その具体的な影響額を合理的に見積もることが困難なことから、現時点で入手可能な外部情報等を踏まえて、2021年5月期の一定期間にわたり当該影響が継続するものとの仮定のもと、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、当第3四半期連結会計期間末時点において、当該見積りに用いた仮定について前連結会計年度末より重要な変更はありません。

今後当該見積りの前提とした条件や仮定に変更が生じた場合、第4四半期連結会計期間以降の連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	146,799	30,000	28,423	31,000	236,224	89	236,314	—	236,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,696	26,591	52	55	29,395	—	29,395	△29,395	—
計	149,496	56,592	28,475	31,055	265,619	89	265,709	△29,395	236,314
セグメント利益又は 損失(△)	3,544	1,049	192	△2,761	2,026	△108	1,917	△38	1,878

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△38百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	131,839	28,212	28,636	29,089	217,779	118	217,897	—	217,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,516	24,591	49	40	27,198	—	27,198	△27,198	—
計	134,356	52,804	28,686	29,129	244,977	118	245,095	△27,198	217,897
セグメント利益又は 損失(△)	1,834	2,043	1,418	△2,547	2,749	△112	2,637	△54	2,582

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△54百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△59百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。